

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

申請者	愛媛県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	235,574千円（43,620千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・専門的な知見を有する外部人材の活用や戦略の啓発を行い、技術の進展や時代のニーズに的確に対応した施策展開を図り、県政のDXを推進する。 ・本県の基幹産業である一次産業（農林水産分野）を中心に、未来技術を活用した生産性向上のための取組みを行うことで、県民生活の一層の利便性向上や地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	○第二期デジタル総合戦略の更なる推進及びデジタルコーディネーターの設置 （12,383千円 コーディネーター謝金旅費、委託料、事務経費 等） ・第二期デジタル総合戦略に基づく取組みの進捗把握 ・デジタルコーディネーター（6名）の設置 ○未来技術を活用した地域課題を解決するための取組み （31,237千円 委託料、補助金、事務経費、講師謝金旅費 等） ・5Gリアルタイム農業指導ネットワークの構築 ・AI等を活用し、乳牛、豚の生体情報を取得することによる生産管理の高度化、効率化 ・県内企業に対する5G関連製品の研究開発支援 ・未来技術を活用できる専門職業人の育成		
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	①県関与年間成約額（農林水産分野）（+89.5億円） ②県外からの移住者数（+5,100人） ③未来技術を活用して地域課題を解決する事業として、県が関与して実施された 取組数（+44件）	関連 URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

申請者	愛媛県	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	387,940千円 (64,161千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	○高機能素材関連産業を県内で活性化させると共に、本県の誇る高度なものづくりに取り組める土壌を次世代につなげ、稼げる産業として維持し、本県に優秀な人材を呼び込む ○優れた技術を持つ企業が高機能素材関連産業のような成長産業で成功を収めることで、当該企業が本県経済を牽引する役割を果たすとともに、雇用創出やイメージアップといった本県の魅力向上にもつながるため、県民の地元に対する誇りや愛着を醸成し、若者の地元定着につなげる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【ソフト事業】 ○高機能素材を活用したイノベーション支援 ・新技術を活用した新たな産業創出 (5,221千円 委託料、消耗品費 等) ・高機能素材等を活用した、先導役となる優れた技術実装の支援 (25,946千円 補助金、事務経費 等) ○県内事業者の競争力強化のための支援 ・成長産業への参入支援 (11,506千円 委託料、事務経費 等) ・伝統工芸品の技術を活かした商品開発支援・ブランド化に向けた販売支援 (15,803千円 委託料、消耗品費 等) ・外国人材の受入整備の支援 (2,282千円 補助金、事務経費 等) ・ものづくり人材の育成支援 (2,668千円 委託料、補助金 等) 【ハード事業】 ○高機能素材を活用したイノベーション支援 ・新技術を活用した新たな産業創出 (735千円 備品購入費)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県関与年間成約額 (ものづくり分野) (+25億円) ②C N F 関連分野での製品化件数 (+7件) ③県産業技術研究所から民間への技術移転件数(CNF関連分野を除く) (+31件)	関連 URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【「ことば」を軸とした文化芸術による関係人口拡大事業】

推進当初

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	481,297千円（81,509千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・独自の「ことば」文化を活用した取組の展開で、関係人口の構築を図る ・「ことば」や「俳句」の聖地として観光誘客を図る ・様々な「ことば」の取組を官民協働で行うことで、市全体で地域愛を醸成する		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○2020年に応募された「ことば」を活用したPR事業や松山市文化芸術振興計画に掲げる「市民全員が“まつやま文化人”」を目指した事業を展開する。 ・ことばのちから事業実施のための負担金 4,356千円 ・文化振興のための負担金 16,940千円 ○インターネットサイト「俳句ポスト365」の運営や俳句甲子園の開催を通じて、俳都松山の発信と俳句人口の拡大を図り、関係人口拡大を狙う。 ・俳句ポスト運営のための委託料 4,213千円 ・俳句甲子園開催のための負担金 21,000千円 ○松山アーバンデザインセンターを核とした地域密着の人材育成を行うことで民間主導のまちづくりへの移行を促進する。 ・松山アーバンデザインセンター運営のための負担金 35,000千円	(事業イメージ)   	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①松山市への移住者数（+78人） ②俳句甲子園全国大会のために松山を訪れたOBOGの人数（+14人） ③「ことばのちから」や「松山ブンカ・ラボ」のイベントの参加者数（+940人）	関連URL	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	90,000千円（19,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・市内企業の人手不足に対し、都市部の複業人材のマッチングを支援し、域外の人材を活用することで解決に繋げる。 ・また、複業人材を活用することで、首都圏等の人材を活用した関係人口の創出を図ることができるほか、多様化する労働ニーズに応え、さらには女性活躍の推進や生涯現役のまちづくりの推進など、多角的な効果を得ることができる。 ・雇用管理の手法等を見直す必要性を認識している企業に対して、業務の見直しや細分化等、企業の労働条件の整備を支援することで、地元の若者の就職先として選ばれる魅力的な企業へと成長できる。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○市内中小企業等と都市部複業人材等とのマッチング支援 (委託料)：19,000千円 (内訳) ①全体企画・広報活動費 ②地元企業・都市部人材向けセミナー運営費 ③現地フィールドワーク・マッチングフォローアップ運営費 ④講師等謝礼 ⑤講師等旅費 ⑥コミュニティ構築・交流イベント運営費 (事業イメージ)		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①事業を通じてのマッチング人数（関係人口）（+65人） ②労務改善を実施した企業数（+30 企業）		関連URL https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

事業概要【関係人口を起点とした転職・起業等の新たな人生チャレンジを応援するプラットフォーム構築事業】

推進当初

申請者	愛媛県西条市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	447,012千円 (98,900千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	本市への移住者が生活に生きがいを感じることで定着率を高めるとともに、居住実績の長い市民においても移住者との交流から新たな刺激を受け、地域の課題解決に向けてチャレンジしようとする相乗効果を創出する。加えて、本市がこれまで積極的に取り組んできた内発型産業を振興するためのハンズオン支援のノウハウを活かし、地域に新たな雇用創出を図るとともに、人材不足に悩む地域中小企業の課題解消に繋げる。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○移住フルサポート機能の確立 ・移住コンシェルジュ活動費 (委託料) 9,104千円 ○まちの人事機能の確立 ・まちの人事コーディネーター活動費 (委託料) 10,000千円 ○産業イノベーション機能の確立 ・産業支援コーディネーター活動費 (委託料) 10,182千円 ・市民活動・コミュニティビジネス等支援費 (委託料) 11,417千円 ○新たなチャレンジ応援プラットフォームの構築 ・戦略的プロモーション・コーディネーター活動費 (委託料) 11,000千円 ○資金循環のための仕組みの構築 ・ローカルファンド構築に向けたSIB実施支援費 (委託料) 1,658千円 市民 = 移住者 = 関係人口 = 企業等 ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ ↑ ↓ 新たな人生チャレンジを応援するプラットフォーム 仕事 SAIJO BASE (ひと・夢・未来創造拠点複合施設) ヒト  戦略的な情報発信 地域の資金循環の仕組み「ローカルファンド」		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内における起業、市内中小企業における新規事業、新規コミュニティビジネスの創出、およびまちの人事機能を通じて移住者・関係人口を採用した件数 (+345件) ②移住フルサポート機能を通じて増加した移住者の数 (+485人) ③プラットフォームを構成する関係人口 (市外在住者・法人を含む) の増加数 (+1,805人) ④西条市ふるさとづくり基金を通じて支援した活動および団体数 (+20件) 関連URL https://www.city.saijo.ehime.jp/so-shiki/seisakukikaku/shiminkaigi.html		

事業概要【紙のまち地域産業活性化人材獲得事業】

推進当初

申請者	愛媛県四国中央市	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,027千円 (32,420千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・幅広い人材を獲得し企業の人材不足を解決 ・移住者が地域にいち早く馴染むことができる環境を整備することによる定住率の向上 ・移住者と地域住民が一緒になってまちづくりを考えることにより地域の担い手の確保 ・人材獲得、地域経済の成長、定住率の向上により持続可能なまちづくりを目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域産業人材確保促進事業…本市で働きたい人や転職・就職希望者をターゲットに、市内産業の紹介や企業訪問等の機会を作り、市内での就職に繋げる。 ・あったかしこちゅ〜地域産業人材確保促進事業 委託料3,300千円 ○生活基盤情報提供事業…仕事や住まいの情報を、ハローワークや宅建協会などの各種業界団体と連携体制を作り、効果的な情報提供を行い、移住を促進する。また、SDGsなどの世界的な目標を意識した、誰もが住みよい環境づくりを目指す。 ・四国中央市SDGsプラットフォームを活用したイベント等運営経費 委託料5,000千円 負担金11,401千円 ・シビックプライド醸成イベント実施経費 委託料8,000千円 ○地域愛あふれる人材育成・定着事業…若年層を対象として地域産業のイメージアップを図る取組を行う。 ・地域産業伝承事業 3,159千円 ・市内若手社会人異業種合同研修会 委託料330千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①15歳～64歳までの社会増減数 (+265人) ②市内有効求人倍率 (▲0.49倍) ③市内高校卒業生就職者の市内企業への就職率 (+11.8%) ④一人当たりの給与収入額 (当該年度目標値+65千円)	関連URL	https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/soshiki/3/39877.html

申請者	愛媛県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,206,013千円(258,561千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	○グローバルな取り組みや海外需要の獲得に向けた取り組みを進めることによる愛媛の農林水産業のブランド化と販売促進による地域経済の活性化 ○若者が魅力を感じる持続可能な儲かる農林水産業を実現し、若い新規就業者の増加や定着率の向上、地方への人の流れをつくる		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〔愛媛県〕 ○販売拡大に向けた営業力の強化 ・既存営業案件の発展・拡大(11,759千円 委託料、事務経費) ・営業先とのネットワークの強化(14,457千円 負担金、事務経費) ○IT活用等による新たなビジネス機会や商流の創出 ・リアルとデジタルの両輪での営業活動の推進(98,087千円 委託料、負担金 等) ・信頼性確保による販路の創出・拡大(27,546千円 委託料 事務経費) ○売れる商品づくりの推進 ・競争力の高い本県ブランドの強化(27,072千円 委託料、負担金 等) ・流通を見据えた商品づくりと付加価値の向上(13,556千円 委託料、補助金 等) 〔八幡浜市〕 ○地域産品のブランド力強化 ・新たな産品開発・磨き上げと普及・ブランディング(17,480千円 委託料、負担金 等) ○大都市圏・海外等での販路開拓・拡大 ・首都圏や関西圏等の大消費地での販路開拓(15,174千円 負担金、補助金 等) ・台湾を中心とした海外販路開拓(6,759千円 補助金、トップセールス旅費 等) 〔大洲市〕 ○地域ブランド産品のクロスユース拡大(ＥＣ×観光×ふるさと納税) ・支援商品の追加決定(184千円 審査委員報償費) ・ＥＣ、店舗での販路拡大、開拓支援、地域ブランド販売力・PR力強化支援(ＥＣ、店舗の両方で顧客獲得が行える体制作り)(19,477千円 委託料、補助金 等) ○芋煮等郷土料理国内外発信事業 ・リアルとデジタル両軸の認知度向上事業(7,010千円 補助金)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	本事業の取組みを通じた県関与年間成約額(農林水産物)(+125億円) 本事業の取組みを通じた県関与年間成約件数(+1,312件) 「愛」あるブランド産品の年間販売額(+20.5億円)	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【愛媛発の暮らし方改革提案と新たなコミュニティ形成による若者世代呼び戻しプロジェクト】

推進当初

申請者	愛媛県、八幡浜市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	701,168千円（144,143千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・本県の将来を担う若者世代の地方回帰・定着の流れを力強く生み出す仕組みを構築し、自己実現を達成できる場所として、若者世代がゆとりと潤いのある豊かな生活を送ることができる移住地域づくりを目指す。 ・移住から定住までの重層的なサポート体制の構築により、移住者の定住促進と「人が人を呼ぶ好循環」の創出を図る。 ・オンライン移住コミュニティを活用し、本県への移住意識を醸成するとともに、移住不安要素を解消することで、移住意欲の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【愛媛県】 ○若者世代の地域受入基盤強化事業（77,177千円 委託料、事務経費 等） ・南予地域での移住者受入態勢の強化 ・地域おこし協力隊OB・OG組織を活用した橋渡し人材の育成と地域との橋渡し機能強化 ・企業も含めた移住と仕事の一体的な移住定住支援相談ワンストップ窓口の運営 ・InstagramなどSNSを活用した定期的なアプローチによる愛媛ファンの呼び込み及び定着 ・県外からの帰省者や、その家族等をターゲットとした県での暮らしの魅力等のアピールによる県内出身者の呼び込み及び定着 ・企業や社員の成長と地域の課題解決を目指す企業合宿型ワーケーションのマッチング促進による企業版関係人口の創出 ・「地域みらい留学」参画校での学校体験等の実施及び県内全国募集実施校の生徒募集に係る情報発信 ○次世代型コミュニティ拡充事業（36,809千円 委託料） ・地域交流型の「コワーキングコミュニティ」の成果を継承したりリモート関係人口を含めた移住潜在層向け「オンライン移住コミュニティ」の充実・大阪圏及び名古屋圏におけるPRの強化 ・地域おこし協力隊の活動ステージに応じた「先輩相談コミュニティ」の充実 ○暮らし方・働き方改革両面での人材誘致強化事業（10,413千円 委託料、講師謝金・旅費 等） ・県内一次産業女子のネットワークを活用した県内就農のPR、就農体験会の開催 ・SNS等の活用や講座・セミナーの開催による愛媛の農林業の魅力発信 【八幡浜市】 ○移住者受入のための市民の意識醸成（400千円 補助金） ・移住・定住に関する推進体制の整備 ○市の暮らし・魅力発信事業（2,884千円 補助金、委託料 等） ・定住支援員を設置し、ポータルサイトやSNSの活用、移住フェアへの参加等を通じて、当市の暮らし、魅力等を発信するとともに、多様な主体と連携しながら、ワンストップで相談に応じる ・創業セミナーの開催 ・首都圏等在住者のネットワークを活用した情報発信及び交流活動 ○ふるさと・キャリア教育推進事業（1,013千円 委託料、補助金 等） ・中学生がふるさとに愛着や誇りを持つこと、また地元企業への理解を深める目的とした大学との連携事業 ・県内小学生を対象にした県内企業等での職場体験の場の提供 ○UIターンによる新規就農者確保・育成事業（15,447千円 補助金） ・就農を目指す新規就農希望者に対する支援 ・新規就農者の創出に向けた各種就農相談活動、マッチング等支援 ・みかんアルバイトを契機とした新規就農者確保、関係人口拡大のための、アルバイト受け入れ支援 ・Iターン就農者等の居住用の空き家改修に係る補助 ・Iターン就農促進に向けた働きやすい環境整備のために必要な経費に対する補助		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①県外からの移住者数に占める20代及び30代の人数（+2,289人） ②県外からの移住者に占める20代及び30代の割合（+11.7%） ③地域おこし協力隊の定着率（+11.5%） ④地域留学入学生徒数（+290人）	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業】

推進当初

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	407,246千円(76,685千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・サステナブルツーリズムの誘客を通じて、滞在時間の延長による観光消費額の拡大を図る ・また、ツーリズムに訪れた若者たちに対して、関係性の維持・深化につながる取組を一体的に実施することで、松山市を第2のふるさととして、多様な形で関わる新しい人の流れを生み出す ・ソフト・ハード事業を一体的に取り組むことで、サステナブルツーリズムをビジネスとして実施できる体制を整備する		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○太陽エネルギーで動くグリーンスローモビリティ及びE-Bikeの活用 ・グリーンスローモビリティの運営（委託料）495千円 ・グリーンスローモビリティの維持管理（修繕料、保険料、消耗品等）1,190千円 ○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームの支援 ・プラットフォームの運営（負担金）6,000千円 ・情報発信等（委託料）2,000千円 ○サステナブルツーリズムを実施・発展できる体制の整備 ・広域周遊型SDGs体験旅行プログラムの作成（負担金）2,500千円 ・旅行商品化の推進（負担金）19,000千円 ・SDGs修学旅行の誘致（負担金、消耗品等）7,500千円 ・情報発信等（委託料）35,000千円 ・多言語対応などの受入環境の整備（負担金）3,000千円 (事業イメージ)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①サステナブルツーリズムの利用者数(+15,000人) ②サステナブルツーリズムの利用者のうち、地方への移住又は通学に興味を持った割合(+39.0%) ③ほしふるテラス姫ヶ浜の利用者数(+700人) ④グリーンスローモビリティの走行距離(+7,350km)	関連URL	https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

申請者	愛媛県ほか20自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	613,816千円(148,512千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	・産学官が緊密に連携し、産業界が求めるデジタル人材を教育、育成する体制を構築するとともに、即戦力となる高度IT人材等の育成・誘致、DX推進人材の育成、未来のデジタル人材の育成を図る。 ・デジタル人材を確保することにより、県内産業DXの基盤を整え、企業の収益力の向上や本県産業の稼ぐ力の強化に繋げ、県民所得の向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【愛媛県】 ○デジタル人材を確保するためのプロジェクト全体の情報発信とデジタル人材の就職支援(25,648千円 委託料、事務経費、委員旅費) ・デジタル人材の確保(教育・育成・誘致)を総合的に推進するための情報発信の強化 ○DXを支えるデジタル人材の教育・育成(23,672千円 委託料、補助金) ・若年者を対象としたIT活用力の向上 ○高度IT人材の誘致・活用(48,477千円 委託料、補助金、負担金、事務経費) ・アジア高度IT人材の受入促進 ・県外IT人材の誘致・活用 ○デジタル人材を活用した県内産業のDXの推進(50,715千円 委託料、補助金、事務経費) ・県内産業DX化を牽引するフラッグシップモデルの創出・波及		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じたデジタル人材の教育・育成・誘致者数(+4,600人) ②本事業を通じたデジタル人材の移住者数(+95人)	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

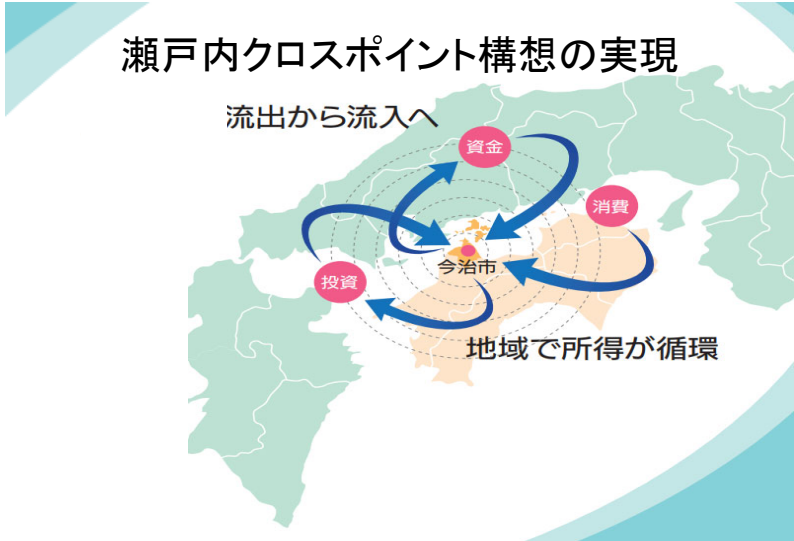
※愛媛県、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、内子町、伊方町、松野町、鬼北町、愛南町の広域連携事業

申請者	愛媛県、砥部町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	245,553千円 (57,950千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・とべもりにおいて、魅力・特色を活かした連携イベント等の開催により、関係人口の創出を図り、県全体の観光入込客数の増加を図る。 ・とべもりをSDGsの体験ができる「学びの場」として発展させることで、SDGsの理念や考え方を効果的に浸透させ、SDGsを実践する人材を育成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	「とべもり」とは、えひめこどもの城、とべ動物園、愛媛県総合運動公園で構成される3施設の総称であり、近隣のえひめ森林公園を加えた4施設を「とべもり+（プラス）」として、以下のとおり事業を実施する。 【愛媛県】 ○えひめこどもの城の魅力向上（7,837千円 委託料） ・とべもりにおけるアートを起点とした新たな魅力の創出 ・デジタル技術を活用したえひめこどもの城の魅力の発揮 ○とべもり+（プラス）連携イベント等の実施及びSDGsプログラムの誘客・利用促進（50,044千円 委託料、事務経費、講師謝金旅費） ・来園者に満足を与え、再来訪につなげる連携イベントの実施 ・連携して魅力を高める集客イベントの開催 ・周遊機能の強化 ・SDGsプログラムの利用促進 【砥部町】 ○連携イベントの実施（69千円 事務経費）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業で整備した施設及びスマホアプリの県外利用者数（+14,000人） ②本事業で開発したSDGsプログラムの利用者数（+10,200人） ③3施設の利用者数（+205,000人）	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【デジタルコンテンツ等を活用した雇用促進事業】

推進当初

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	74,046千円 (29,114千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・デジタルコンテンツを活用したキャリア教育、雇用促進施策の充実を通じたU I J ターンの推進 ・若者等による地域課題解決に資する創業支援 ・サテライトオフィスの誘致及びデジタル人材の育成		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○学生等の視点による企業魅力動画の作成及び発信 ・（委託料）4,678千円 ○オンライン等合同企業説明会等を通じた企業情報の発信 ・合同企業説明会事業運営（委託料）8,800千円 ・雇用促進協議会のSNS機能強化（補助金）90千円 ○地域課題解決に資する創業支援 ・（補助金）4,021千円 ○サテライトオフィス誘致マッチングイベントへの参加 ・（負担金）825千円 ○デジタル人材育成プログラムの運営 ・（委託料）10,700千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル人材育成事業で育成したデジタル人材の人数（+150人） ②地域課題解決を通じた若者や女性等の創業支援事業で創業した新規創業者数（+34人） ③今治市サテライトオフィス誘致マッチング支援事業で誘致した企業数（+6社） ④今治市企業情報サイト「ハタラク」のマッチング機能を活用して市内企業へ就職した就職者数（+22人）	関連URL	https://www.city.imabari.ehime.jp/simingamannaka/chihouseisei/

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	35,126千円 (9,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・瀬戸内のへそに位置する立地条件を活かし、資金・消費・投資の流れを域外への流出から流入・循環へと変えていく「瀬戸内クロスポイント構想の推進（地域経済循環の実現）」を図る。 ・地域経済循環の司令塔となる地域商社の機能を官民協働で確立し、スケールメリット・デジタル技術を活かし地域産品の戦略的なマーケティングを実施する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○若年層等新たな購買層に向けた広報事業 (委託料) 3,500千円 ○リピーター獲得に向けた各種PR事業 (委託料) 4,500千円 ○海外（英・米等の欧米圏）需要開拓事業 ・市場調査、展示・販売・広報の実施 (委託料) 1,500千円	 瀬戸内クロスポイント構想の実現 流出から流入へ 資金 消費 投資 今治市 地域で所得が循環	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域商社等による売上金額 (+28,000千円) ②地域商社等による新商品開発件数 (+13件) ③地域商社等による取扱商品件数 (+60件) ④地域商社等との連携企業数 (+45社)	関連URL	https://www.city.imabari.ehime.jp/simingamannaka/chiikisaisei/

事業概要【日本一細長い半島のICTを活用した地域商社『佐田岬モデル』確立プロジェクト】

推進当初

申請者	愛媛県伊方町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	34,000千円 (10,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	①さらなる町の魅力を創出することで時代の変化に対応した「しごとづくり」を行い、②それら魅力を発信することで、「町外での稼ぐ力」を強化し、③町内はもちろん、訪れた方の周遊ルートのモデルコースを確立する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	①伊方町魅力創出事業 2,200千円 ・旅行会社（専門家）による旅行商品造成支援 ○対象ツアー：モニターツアー、募集型、受注型企画旅行 ○企画検討（伊方町の地域資源の分析、ブラッシュアップ等） ○旅行商品造成研修を通じた佐田岬観光公社の自社ツアーの企画と販売 ②伊方町魅力発信事業 4,800千円 ・情報発信支援 1,200千円 ・機能整備・追加 1,400千円 ・素材収集 1,200千円 ・データ収集と分析 1,000千円 ③交通動態調査分析事業 3,000千円 ・ビックデータの活用と有人調査によるハイブリット方式での動態調査		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①事業者の観光業への参画数（+35件） ②事業を通じた売上高（+7,000千円） ③年間ふるさと納税額（+90,000千円） ④体験ツアーの参加数（+300人）	関連 URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中



申請者	愛媛県、四国中央市、西予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	321,103千円（108,965千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的（効果）	・「愛媛で就職し、結婚・出産の希望を叶え、安心して子育てを行い、仕事と家庭の両立ができる社会」の実現を図る。 ・企業・事業者への支援や意識醸成のセミナーを実施することにより、若年者（特に女性）から選択される企業・事業者への変革を図る。 ・デジタルを活用した採用活動の支援を行うことで、企業・事業者の採用力強化を図る。 ・出会いの場を提供する事業の実施により、若年者の結婚の望みを叶え、県内定着を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【愛媛県】 ○人口減少問題に関する意識醸成及び若年者の県内定着・仕事と家庭の両立に向けた企業への支援（62,841千円 委託料、事務経費） ・働き方や職場環境の改善による仕事と家庭の両立に向けた、企業を対象にしたセミナーの開催 ・「ひめボス宣言事業所」認証に向けた相談体制の充実 ・仕事と家庭の両立に高いレベルで取り組む企業の顕彰 ・いきいきと活躍する女性の人材育成 ・仕事と家庭の両立事例・女性活躍事例の広報PR ・働き方改革の推進による魅力ある職場環境づくり支援 ○行動変容を行う企業・事業者に対する採用力強化支援（25,629千円 委託料） ・行動変容を行う企業・事業者に対する採用力強化支援 ・オンライン採用活動支援セミナー・内定辞退防止セミナーの開催 ・オンラインインターンシップの実施 ・若年人材の獲得支援 ・デジタルブックの活用 ○若年者のライフプラン形成支援（16,395千円 委託料） ・新入社員等に対するライフプラン形成支援 ・企業と連携した出会いの場づくりの提供 【四国中央市】 ○若年者のライフプラン形成支援 ・独身男女の出会いの場を提供する団体等への支援（1,500千円 補助金） 【西予市】 ○若年者のライフプラン形成支援（600千円 委託料） ○企業と学生のマッチング及び雇用の受け皿の拡大（2,000千円 補助金）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①仕事と育児の両立・女性活躍に取り組む企業・事業者数（+150社） ②県内新規学校（大学等）卒業者の県内企業への就職内定者数（女性）（+60人） ③男性の育児休業取得率（+65.7%） ④出会いの場を提供する事業への参加者数（+520人）	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成によるデジタルトランスフォーメーション 加速化事業】

推進当初

申請者	愛媛県、西予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	296,953千円 (110,527千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・Web3.0人材等の育成、デジタル分野で活躍する女性人材の育成、東京藝術大学と連携したデザイン力向上支援、社会人を対象としたデジタル分野のリスキング環境整備、若年層に対するSTEAM教育、などを通じて「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成を図る。 ・育成した人材により県内企業のDXを進め、次代を担う活力ある産業を創り、1人当たりの県民所得の引き上げを目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【愛媛県】 ○未来デジタルキャリアの獲得及び稼ぐ力の向上支援（22,693千円 委託料、事務経費） ・稼ぐ力の向上を目的に、Web3.0及びそれらを構成する分野のスキル（メタバース等）を身に付けた人材の育成 ・デジタル分野で活躍する女性人材の育成 ○東京藝術大学と連携したデザイン力向上支援（66,038千円 委託料、謝金、事務経費 等） ・「アーティスト・イン・レジデンス」による人材育成 ・芸術祭の開催に向けた実施体制の構築・実施計画の策定や芸術祭に参加するアーティストの招へい ・映像制作人材の育成 ・感動のエピソードと写真を合わせた先端表現芸術を磨くコンテストの開催 ○社会人を対象としたデジタル分野のリスキング環境整備による「ビジネス」の視点を持った人材の育成（21,676千円 委託料） ・デジタルを活用した業務変革及び社内リスキングの必要性について理解を促進するセミナーの開催 ・IT技術及び人材育成に係る専門知識を有する人材を企業に派遣することにより、社内人材の育成及びリスキング方針・研修実施プログラムの構築を支援 ・県内事業所のマーケティング職員等を対象とし、デジタルマーケティングを単なる知識の刷り込みではなく、実践的なフレームワークやスキーム等の具体例を交え、業務に活用するためのノウハウ習得を目指す研修の開催 【西予市】 ○大学・民間の力を活用したデジタル人材の育成（120千円 謝金） ・ICT技術を活用したDXを推進するための人材育成		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業を通じた「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」に精通した人材の育成数（+1,550人） ②育成した人材によるビジネスに関するプロジェクト数及びデザインに関するコンテンツ数（+80件） ③県関与年間成約額（+97.9億円）	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

事業概要【しまなみアートミュージアム魅力発信による誘客促進および地域活性化事業】

推進当初

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	19,974千円 (4,710千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	日本遺産に認定された村上海賊の知名度を生かし、VRやPRキャラクターのコンテンツ力を高めることで、しまなみ海道沿線に点在する文化施設「しまなみアートミュージアム」へ波及効果をもたらす。また、「しまなみアートミュージアム」を線として繋ぎ回遊性を持たせるため、魅力発掘・課題抽出をおこない、受け入れ環境改善、ブラッシュアップをおこなう。これらの事業により、国内外からの誘客を一層促進し、地域の賑わいの創出と交流人口の拡大に繋げ、地域経済の活性化を達成する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○村上海賊PRキャラクターを用いた作品として1年目に制作した絵本の英語版を作成する。村上海賊PRキャラクターのコンテンツ価値を最大限高め、国外へ向けての情報発信を強化していく。 ・英語版絵本制作業務委託（委託料）4,710千円		  
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①しまなみアートミュージアム（ミュージアム7館）の来館者数（+8,000人） ②デジタルスタンプラリー利用者数（+800人） ③村上海賊PRキャラクターを用いた商品開発数（+20種類） ④地域の観光入込客数（+66千人）		関連URL https://www.city.imabari.ehime.jp/si mingamannaka/chiikisaisei/17.html

申請者	愛媛県西条市ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	127,305千円 (60,109千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	人（地域事業者等）と人（来訪者）を結びつけるデジタルプラットフォーム(以下、DPFと言う)を構築する。このプラットフォームを通じて、いしづちエリアでいきいきと活躍する住民の生き方、暮らしぶりを来訪者に提案し、関係人口や移住促進へと結びつけるライフスタイル型地域観光・滞在スタイルの創出に取り組む。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○地域で活躍する人材（キャスト）の生業等に焦点を当てた高付加価値体験や交流プログラムを顧客に提供することができるDPFを開発する。 ・システム開発費（委託費） 30,000千円 ○プラットフォームが効果的、継続的に活用できるよう、DPFの運営協議を進める。また、キャストの発掘や滞在コンテンツの造成に努める。 ・DPF運営費・キャストの発掘費（委託費） 13,924千円 ・その他事務経費等（役務費、消耗品、謝金ほか） 1,385千円 ○魅力的なコンテンツの造成方法やユーザー確保のためのノウハウをキャストに提供する人材育成を行う。 ・人材育成経費（委託費） 6,000千円 ○大都市圏、特に関西圏に在住するZ世代及びデジタルネイティブをメインターゲットとしたマーケティング及びプロモーションに取り組む。 ・マーケティング・プロモーション経費（委託費） 8,800千円 デジタルプラットフォーム コミュニティ機能 【関係性の創出】 【帰属意識の創出】 キャスト 農業一筋30年！ 西条まつりをご案内！ 里山の生活を体験！ 詳しく見る 詳しく見る 詳しく見る 一緒に体験できること 一緒に体験できること 一緒に体験できること 収穫体験 まつりの歴史勉強 里山の生活を体験 農家民泊 伝統工芸体験 石鎚山の散策 周土料理体験 まつりのご案内 周辺観光スポット散策 検索・マッチング機能 【興味・関心の創出】 コミュニケーション機能 【興味・関心の深化】 体験予約機能 顧客 旅アト 旅ナカ 旅マエ		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①DPFを通じた来訪者数（+13,313人） ②DPFを通じた来訪者による消費額（+279,358千円） ③登録キャスト数（+350人） ④コミュニティ参加者数（+1,330人） 関連URL https://www.city.saijo.ehime.jp/soshiki/seisakukikaku/shiminkaigi-kaisai-14kai-r.html		

申請者	愛媛県伊予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	225,132千円 (52,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・地域DMOをハブとした観光物産振興に係る合意形成のプラットフォーム機能整備 ・地域DMOをハブとした観光物産振興における地域間交流、政策連携の仕組みづくり ・産業の効率化と担い手確保を目的としたDXへの取組		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	地域DMOを核とした持続可能な観光物産振興事業【合計 52,000千円】 ○地域DMO組織の安定運営と観光物産コンテンツの発掘・整理・発信（委託料：3,300千円） ○事業者と生産者のマッチング事業（委託料：3,300千円） ○観光物産PR事業（委託料：3,300千円） ○都市部からの来訪者と市民の交流促進事業（委託料：21,400千円） ○新規事業公募実現事業（委託料：5,500千円） ○次世代DXプロデューサー候補育成と地域内へのデジタル導入支援（委託料：14,100千円） ○先進事例等の収集、分析、共有と本市への落とし込み（委託料：1,100千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域DMO登録会員(団体)数（+390人(団体)） ②伊予市への観光入込客数（+190千人） ③代表的な観光施設の年間売上額（+49,000千円） ④新規開発商品数（+12点）	関連URL	https://www.city.iyo.lg.jp/keizaikoyou/dejiden.html

事業概要【スタートアップ・エコシステムの確立による稼げるスタートアップ創出プロジェクト】

推進当初

申請者	愛媛県、大洲市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	259,686千円 (80,577千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・高付加価値や新たな雇用の創出に直結し、県全体の経済に波及効果を及ぼす、スタートアップの創出を図る。 ・メンター機能を提供するアクセラレーターの支援により、全国事業展開を後押することで、事業規模の拡大、雇用の創出を図る。 ・首都圏等の研究開発型スタートアップ企業と関係性を構築し、県内への事業活動拠点の誘致を図る。 ・スタートアップコミュニティの構築や起業家精神をもった若年人材の育成により、スタートアップ・エコシステムの形成を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	【愛媛県】 ○稼げるスタートアップ事業の創出と創業者のステージに応じた支援及びスタートアップ・エコシステムの構築 (22,800千円 委託料) ・新しい価値の創造や新たな雇用の創出につながるような、県全体の経済に効果がある事業の創出・支援や創業者のステージに応じた支援体制の構築 ・スタートアップ・エコシステムの構築を見据え、素地となる創業者コミュニティの創出及びスタートアップ創出に実効性のあるプログラムの確立 ○研究開発型スタートアップ企業の誘致に向けた関係性の構築 (25,152千円 委託料 等) ・県内企業と県外スタートアップとのマッチング、新事業創出に向けた伴走支援及び事業拠点整備 ○若年層の地域課題解決の意識や起業家精神を醸成するための体験的な活動 (26,673千円 需用費、講師謝金・旅費 等) ・県内高校生を対象として、地域社会と連携しながら地域課題の解決を図る体験活動の実施と成果報告会の実施 ・若年層を対象にしたセミナーやビジネスプランの作成から発表までを包括して支援するプログラムの実施 【大洲市】 ○高校生の起業促進 (5,952千円 委託料 等) ・身近に抱える課題の抽出、事業化の手法、事業の運営方法等、起業に関する知識を学ぶ育成プログラムの実施、地元事業者との交流・連携		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+1,300人) ②全国平均の開業率を100とした場合の本県の開業率の割合 (+18%) ③本県に拠点を置く企業のJ-Startup (J-StartupWestを含む) 登録件数 (+12件) ④創業支援プログラム参加者による県内創業件数 (+210件)	関連URL	https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html

推進当初

※愛媛県、鬼北町、松野町、愛南町、久万高原町、今治市、八幡浜市、東温市の広域連携事業

事業概要【若者視点に立った新たなまちの魅力創造事業】

推進当初

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	266,918千円 (105,366千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・将来のまちづくりの担い手となる若年層をターゲットに大都市圏からの移住促進 ・本市在住の若年層への定住促進 ・“ふるさと松山”に愛着と誇りを持つことで、「松山に住み続けたい」「進学や就職で松山を離れたとしても、いつかは松山で暮らしたい」「何らかの形で貢献したい」と思う若年層に満ちた都市を目指す		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○SNSを通した市内外の若者の本音を聴取・分析 ・ソーシャルリスニング (委託料) : 1,980千円 ○若者をターゲットとしたコンテンツ作成や、国内ファッションイベントと連動した本市の魅力発信 ・コンテンツ作成 (委託料) : 10,450千円 ・デジタルコミュニティの作成 (委託料) : 12,470千円 ・地元企業との商品開発等 (委託料) : 15,070千円 ・イベント関連事業 (負担金) : 20,000千円 ○移住者や子育て世代の地域コミュニティへの参加促進 ・移住促進事業 (委託料) : 10,884千円 ・松山市防災推進協議会負担金 : 11,000千円 ○クロスメディアによる松山情報のタッチポイント増加 ・メディアプロモーション、情報発信等 (委託料) : 23,512千円	(事業イメージ) 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数 (+600人) ②若者文化賑わい創出事業の市民参画者数 (+40人) ③本市に関するポジティブツイート件数 (+60,000件) ④発信した情報への接触人数 (+81,100人)	関連URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

事業概要【デジタル技術やデータを活用した戦略的な産業振興推進事業】

推進当初

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	113,484千円 (34,288千円)
事業タイプ ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・地域産業や観光関連産業、農林水産分野においてデジタル技術や新技術の活用による効率化や参入ハードルの低下、データマーケティングによるターゲット層の分析、充実した雇用機会や収益の向上、エビデンスに基づいたプロモーション戦略等を付加 ・地域産業のデジタル化やデータ分析に基づいた効率的な施策の実施により、関係人口の拡大、地域産業の活性化、実需の創出等につなげ、全国から選ばれるまちとなる		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ デジタルマーケティングの手法を活用した地域産業及び観光振興 ・ECサイト等を活用した販売促進・観光振興（委託料）：27,500千円 ・人材育成プログラム作成等（委託料）：1,556千円 ・デジタルマーケティング、データ分析（使用料）：924千円 ○ 先端機器を活用したスマート農業の促進等 ・スマート農業の研修、体験会（備品、消耗品費）：2,723千円 ・大学との共同研究（委託費、消耗品費）：1,585千円 (事業イメージ) 農業の生産性を向上し地域経済分野へ波及 スマート農業の導入 生産性向上の研究		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数 (+60人) ②参加事業者EC売上額及びOTA経由宿泊予約額 (+30.63億円) ③物産購買と観光のクロス利用者数 (+3,815人) ④スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合 (+50%)	関連URL	【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehim.e.jp/shisei/keikaku/chihososei/senryaku-kensyo.html

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	273,753千円（100,051千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・市内企業のデジタル化、省力化、省人化による生産性向上を図る。 ・若者が地元で活躍できる環境を提供することで、市内での若者の雇用拡大を図る。 ・市内企業の新たな付加価値や新産業を創出することにより域内の産業競争力強化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○AI人材育成事業 ・産学官連携によるAI人材育成講座の開催と相談業務の実施 講座運営及び相談業務委託料 6,000千円 ・DX推進事業への補助 補助金等 20,021千円 ○スタートアップの育成・誘致事業 ・ビジネスプランコンテストの開催及び上位入賞者等に対する創業支援事業 コンテスト開催委託料 2,000千円、創業支援補助金 6,000千円 ○オープンイノベーション推進事業 ・市内企業やスタートアップ企業の社員が集まるものづくりオープンラボの運営 運営補助金等 31,200千円 ・オープンイノベーション型新産業創出支援事業 補助金等 30,030千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+2,970人） ②AI人材育成人数（+420人） ③スタートアップ創業件数（+5件） ④ものづくりオープンラボ参加企業数（+30社）	関連URL	https://www.city.imabari.ehime.jp/simingamannaka/chiikisaisei/

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【西予市地域づくり活動センター整備事業（周木地区）】

拠点補正

申請者	愛媛県西予市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	214,911千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	少子高齢化などの影響により一律的な行政サービスの推進に限界がきている現状において、「地域づくり活動センター」を整備することで地域づくり活動をさらに活性化させ、地域コミュニティが主体性をもって地域の特性を活かした地域サービスの創出に取り組む仕組みづくりを構築し、住民と行政による協働のまちづくりを図る。		
整備内容・利活用方策	地域づくり活動センターにおいて、地域コミュニティが主体性をもった課題解決型の地域活動や、地域資源を活用した特産品等の検討を行うとともに、自立性の高いコミュニティビジネスが展開され持続可能な住民自治が形成されることで、住民と行政との協働のまちづくりを図る。 また、高齢者向けに、スマホ教室の開催、スマホによる安否確認や配食サービスの提供などデジタル化を推進。 ・地域づくり活動センター改修整備費：160,667千円 ・業務委託：7,966千円 ・外構設備整備費：41,174千円 ・備品整備費：5,104千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+9人） ②周木地域づくり活動センター施設利用者数（+1,550人） ③地域づくり活動等に関わった関係人口の数（+90人） ④配食サービスによる売上高（+1,870千円）	関連URL	https://www.city.seiyo.ehime.jp/kakuka/seisaku_kikaku/seisakusuishin/tihousousei/503.html



旧周木小学校を活用

事業概要【松山南高等学校砥部分校魅力化支援事業を核とした交流拠点整備事業】

拠点補正

申請者	愛媛県砥部町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	225,262千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	砥部分校生と地域住民、民間企業など様々なステークホルダーが交流できる施設を整備することで、地域全体で町の未来を創る人材を育成し、魅力化を図っていくことにより、地域内外からの人材の還流を引き起こし、関係人口の拡大や砥部分校生を中心とした新たな就業機会の創出、将来の移住定住促進につなげる。		
整備内容・利活用方策	砥部分校教育寮（仮称）の整備（総事業費：822,448千円） 【施設概要】 砥部分校教育寮（仮称）は、宿舍棟と共用棟（多目的共用施設）の2棟建てとし、共用棟を交付対象事業とする。 ・施設整備費：207,210千円 ・備品購入費：16,204千円 ・教育カリキュラム作成費：1,848千円 【利活用方策】 ・地域住民との交流 ・地場産業である砥部焼窯元との交流 ・新設する砥部分校ゲームクリエイションコースの生徒とIT企業（デザイナーやプログラマー等）との交流拠点として、デザイン・プログラミング教室の開催等を通じたデジタル人材の育成を図る など		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地方へのU I Jターン数（+75人） ②松山南高校砥部分校入学者数（+200人） ③松山南高校砥部分校教育寮入寮者数（+75人） ④移住者数（20代～30代）（+60人）	関連URL	https://www.town.tobe.ehime.jp/soshiki/2/koukakenshou.html

